

# 令和6年度 第二回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年6月25日(火) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 佐藤祐輔、鈴木幸彦、犬居和賀代、鈴木麻里
- 4 欠席委員 間宮年弘、林容子
- 5 オブザーバー 古橋一哲(南陽協働センター)
- 6 学校支援コーディネーター 前島杏里
- 7 学校 澤田正樹(校長)、大石智香子(教頭)、内田由佳(CSディレクター)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳

## 10 議長の選出

司会の大石から、議長の選出について委員に求めたところ、鈴木麻里委員が本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

## 11 協議事項

- (1) 学校の安全教育と地域の連携について
- (2) 学校評価アンケートについて
- (3) その他

## 12 会議記録

司会の大石から、委員総数6人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会長挨拶…うれしく思ったことが三つある。一つ目は、5月の運動会にて、ピンクグッズのご協力いただき、子どもたちも反応してくれたこと。いじめ反対の日「ピンクシャツデー」は、本来、2月のイベントであるので、次回は2月にやりたい。二つ目は、図書ボランティアの復活。子どももボランティアも楽しんでやれた。担任の先生は、読み聞かせに参加せず、自身の仕事をするなど、自由にしてもらうというコンセプトがよかった。三つ目として、降雨時、駐車場の交通整理に校長、主幹の不在時に、旗振りのいない所をすすんでやってくれたことである。

校長挨拶…安全について。今年度の課題→交通安全、災害に対する安全も重視。職員研修会にプロフェッショナルを招いて受講している。本日は火災訓練を実施。訓練の後が大事。実際の災害時の場合はどうか、との現実的な推測、仮定が大事。花壇について。「グリーンハート ヤマムラ」というお花屋さんは花壇の整備、植え付けをすべて大人がやるのではなく、子どもたちにもやらせることを意識してくれている。鳩よけ等もすべてボランティアとして作ってくださった。また、今年度も、本校を支える企業からも援助をいただいている。

### (1) 学校の安全教育と地域の連携について

防災教育についての学校側の説明後

- ・抜き打ちとあるが、子どもたちにはまったく知らせないのか。(佐藤委員)→知らせない。(学校)
- ・先生はその時どこにいるのか。(佐藤委員)→その状況による。(学校)
- ・天候は関係ないのか。(麻里委員)→雨天は中止。(学校)

- ・過去に起きた問題はないか(麻里委員)→今のところ問題はでていないが、常に想定外の状況を探りながら計画、実施をしている。例としては、避難できない子の設定など。(学校)
- 研修で得た知識や情報を基に、例年と違うものを意識して計画している。(学校)
- ・職員の口調についてはどうか。(麻里委員)
- 命に係わる場面を想定し、丁寧な言葉ではないこともある。(学校)
- ・初動は机の下に、など指示待ちか、能動的なのか。(佐藤委員)
- 自ら考え、臨機応変な行動を指導している。廊下にいる時に地震が発生したら、教室等障害物の多いところまでわざわざ移動しない等。(学校)
- ・さす股の訓練について、5日間かけて読んだ「芳川小プラン」(教育課程)に書かれていた。すばらしい。(佐藤委員)
- ・防犯訓練はあるのか(犬居委員)→先日実施した。抜き打ちにはしなかった。不審者がいると言う想定であるため、訓練であっても子どもたちの心への衝撃を考慮している。(学校)
- ・ミサイルアラートに対してはどうか。(麻里委員)→過去には実施したことがある。(学校)
- ・緊急地震速報の時はどうするのか。(麻里委員)→校内にボランティア等がいれば、ではあるが、携帯電話のアラームが鳴るのが助かるのが現状。(学校)

#### 交通安全について学校側の説明後

- あぶトレ…悪い人から逃げる訓練(いかのおすし)では、不審車両から離れる時の方向は、車の後部方向に逃げることなどの指導をしている。(学校)
- ・学校支援コーディネーターの研修会でも紹介されたが、学校防災で得た知識を子どもたちが地域の訓練の場で大人に伝える。老人ホームに助けに行く訓練などもある。高齢者避難の時に体育館はどうなっているのか興味がある。(麻里委員)
- 学校の体育館には、避難所になっても、何も用意等されていない。(犬居委員)
- ・子どもたちからそういう情報を地域の高齢者に発信してもらいたい。(麻里委員)
- ・芳川小はこの地域の中では、比較的に高地にある。芳川の支流にあたる。近隣校に比して安全度は高い。子どもたちには訓練の通りに動いてもらうことが大切。(幸彦委員)
- ・誰が体育館を開錠するのか。(佐藤委員)→市の職員が行う。(学校)
- ・浜松市民は地震に備えることについて油断してきているのではないかと感じる。自宅以外の場所にいる時に、咄嗟に避難の重要性を訴えるなど、周囲に働きかけることは必要。(佐藤委員)
- ・あぶトレにて、誘いに乗りそうなテーマのQ&Aをやってほしい。手の込んだ誘いを想定するなど。(佐藤委員)
- ・さくら連絡網の不審者情報は有効。瞬時に大勢が情報を共有できる。(麻里委員)
- ・住人が声をかけてやるのを見るだけでも、不審者もそこには近寄らない。犯罪抑止になる。(幸彦委員)
- ・子どもに保護者の防災訓練を見せるのもいいかもしれない。(麻里委員)
- ・地域の人にいかに関心を持たせるかは大事。(幸彦委員)
- ・食の安全について給食だよりに記載されているが、見ない人をどう取り込むか。(犬居委員)
- ・今日のメニューを見て何があぶないか。例「うずらじゃない？」など、自ら危険予知できることが大事。詰まったときにする対処を学ぶのもいいのでは。(麻里委員)(佐藤委員)
- 救命の訓練を職員同士ではやっている。(学校)
- ・AEDはどこに？(犬居委員)→職員室前だが、外に設置する方向で検討中。(学校)

・警察署に問い合わせたが、送迎の車と徒歩の子どもたちが完全な別ルートを使用し登校することは、スクールゾーンの問題でできない。校長と主幹が車の誘導をしてくれているが、今後、職員が変わったらどうなるのか不安である。(佐藤委員)

・もっと保護者が現状を知るべき。(佐藤委員)

・ドローンを使って雨の日の状況を撮影して、警察とタッグ組めないか。(佐藤委員)

・よく事故が起こらない、と思うほど危険な状態だ。実態を知らない人も多くいると思う。さくら連絡網等でこの危険な状況を周知したい。対策のための意見を募るのはどうか。学校運営協議会からのアンケートとして実施したらどうか。(佐藤委員)(麻里委員)

・交通安全推進モデル校の看板が正門に掲げられているが、恥ずかしいぐらい雨の日は送迎車の往来が危険な状況である。(佐藤委員)

## (2) 学校関係者評価について…資料に基づいて、学校側の説明後

・22と23が気になる。何件ぐらいでてるか。出たことでどう対応するのか。(佐藤委員)

→アンケートを数種類実施しているが、全てのアンケートにおいて、担任は早急に当該児童と面談をしている。(2、3日以内をめどに)。(校長)

・必要なら文書等でも共有するのか。(犬居委員)→共有が必要ない場合でも、後に、隠れた問題が浮上した時のために記録には残す。(学校)

・自分はルールを守っているが、他者からみるとできていないこともないか。今朝、読み聞かせボランティアの移動中に、こちらに向かって、輪ゴムに竹串をひっかけて飛ばそうとしていた。その少し後、竹串でゴムを飛ばそうとしていた。行為については咎めたが、急いでいたことと、図工の材料かもしれないと思い、所持の理由は聞かなかった。(麻里委員)

## (3) その他

## 6 報告

①ほうがわクスノキ応援団よりの説明

②今年度の懇談会は期せずして、参加者が大勢だったことがうれしいと感じた。(学校)

・なぜそんなに残ってくれたのか。(犬居委員)→学年だよりに懇談会のテーマ等を記載したのも、奏功したのではないか。今後、担任等に原因を聞いてみたいと思う(学校)

・総会の時に引き渡し訓練をスケジュールに抱き合わせたことを思い出した。足を運んでもらうことで共有事項が増える(犬居委員)

## 7 連絡

・R6年度 第3回の協議会は、10/21(月)午後1時30分からCS ルームで開催する旨の報告があった。

・次回議長は林さんを推挙する旨の発言が、委員全員からあったが、保留とした。